

線形代数及び演習 II 演習プリント No.5 (2019.10.28)

1. A を n 次の正方行列とする. $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$ を満たす \mathbf{x} 全体の集合は \mathbb{R}^n の部分空間となることを示しなさい.

2. ベクトル空間 V のベクトルの組 $\{\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \dots, \mathbf{v}_n\}$ が基 (底) となる条件を述べなさい.

3. ベクトル空間 V の次元 (有限の場合) の定義を述べなさい.

4. V をベクトル空間とする. W_1, W_2 が V の部分空間なら $W_1 \cap W_2$ も V の部分空間であることを示しなさい.

5. 次の W はベクトル空間 \mathbb{R}^3 の部分空間かどうか調べなさい (問 1 の結果を使ってよい).

$$(1) W_1 = \{\mathbf{x} = (x_1, x_2, x_3)^T \in \mathbb{R}^3 : x_1 + x_2 - x_3 = 0, 3x_1 + x_2 + 2x_3 = 0\}$$

$$(2) W_2 = \{\mathbf{x} = (x_1, x_2, x_3)^T \in \mathbb{R}^3 : 2x_1 - 3x_2 + x_3 \leq 1, 3x_1 + x_2 + 2x_3 \leq 1\}$$

$$(3) W_3 = \{\mathbf{x} = (x_1, x_2, x_3)^T \in \mathbb{R}^3 : 2x_1 + x_2 - 2x_3 = 0\}$$

6. 次のベクトルは 1 次独立か 1 次従属か調べなさい. ただし, (3) の f_1, f_2, f_3 は実数を係数とする高々 2 次の多項式全体が成すベクトル空間のベクトルとする.

$$(1) \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 3 \\ -3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -2 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 1 \\ 5 \end{pmatrix}$$

$$(3) f_1(x) = 1 - 2x + x^2, f_2(x) = 3 - 3x + x^2, f_3(x) = 3x + 2x^2$$

7. 次の各組みのベクトルに対して次の問いに答えなさい。

- (i) 1次独立な最大個数 r を求めなさい。
- (ii) r 個の 1次独立なベクトルを前の方から順に求めなさい。
- (iii) 他のベクトルを (ii) のベクトルの 1次結合で書き表しなさい。

$$(1) \mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \\ 4 \\ 3 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 5 \\ 3 \\ 10 \\ 8 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_4 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_5 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

$$(2) f_1 = 1 + 2x, \quad f_2 = 2 + 3x - x^3, \quad f_3 = 1 - x + 2x^2, \quad f_4 = 1 + x - x^3, \quad f_5 = 3x - 2x^2$$

8. 次のベクトル空間 W の次元と基 (底) を求めなさい。

$$W = \{\mathbf{x} = (x_1, x_2, x_3, x_4)^T \in \mathbb{R}^4 : x_1 + x_2 - x_3 + x_4 = 0, 3x_1 + 3x_2 + 2x_3 - x_4 = 0\}$$

9. 次の命題の正否を答えなさい。正しい場合は証明しなさい。間違っている場合は判例をあげなさい。

「 \mathbf{u}_1 と \mathbf{u}_2 , \mathbf{u}_2 と \mathbf{u}_3 , \mathbf{u}_1 と \mathbf{u}_3 が 1次独立ならば $\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3$ は 1次独立。」